

英語4技能教育とAI活用に関する調査報告書

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>

目次

1. 調査概要	3
2. まとめ	5
3. 本調査結果のポイント	6
4. アンケート調査結果	9
5. 調査データ～学校別クロス表～	28
6. 調査データ～地域別クロス表～	39

1. 調査概要

調査概要

- 調査目的** : 英語4技能教育の現状と課題、英語教育におけるAI活用に関する教員の意識を調査する。
調査期間 : 2017年11月1日(水)～11月6日(月)
調査方法 : Webアンケート方式
調査地区 : 全国
調査対象 : 小・中・高校、塾・予備校で英語教育に関わっている教員・講師の方 100名

調査項目

1. 英語4技能すべてに対応しているか
2. 英語4技能教育として実施している授業
3. 英語4技能のうち最も力を入れたい分野
4. 「ライティング」「スピーキング」指導の際に重視しているポイント
5. 「ライティング」「スピーキング」対策として期待できる方法
6. 英語4技能教育の課題
7. 英語教育全般の問題点や課題
8. 英語4技能向上のため自身が行っている取り組み
9. 英語4技能に関して今の教育を変える必要性
10. 英語4技能教育におけるAI活用の可能性

回答者属性

- 性別内訳** : 男性(56%)、女性(44%)
- 年代別内訳** : 20代(7%)、30代(17%)、40代(19%)、50代(44%)、60代以上(13%)
- 学校内訳** : 小学校教員(公立)(15%)、中学校教員(公立)(5%)、高校教員(公立)(14%)、高校教員(私立)(2%)、受験対策塾・予備校講師(43%)、受験対策ではない塾の講師(21%)
- 地域内訳** : 北海道(5%)、東北(5%)、関東(40%)、中部(14%)、近畿(18%)、中国(7%)、四国(5%)、九州(6%)

2. まとめ

2020年に始まる「大学入学共通テスト」では英語4技能を測るために民間の資格・検定試験の活用が見込まれています。「読む」「聞く」力を問う従来の英語教育から「書く」「話す」力も問うアウトプット型の英語教育へのシフトが求められるなか、教育現場における英語4技能対応はどこまで進んでいるのでしょうか。eラーニング戦略研究所は2017年11月、小・中・高校、塾・予備校で英語教育に関わる教員・講師100名を対象に、英語4技能教育の現状と課題、英語教育におけるAI活用についてのアンケート調査を実施しました。

その結果、英語4技能すべてに対応した授業を実施している学校は45%で過半数に満たないことが明らかとなりました。学校別にみると、中学校では英語4技能すべてへの取り組みが進んでいる一方、公立高校教員、受験対策塾・予備校講師の3分の1が「実施予定はない（4技能すべてには未対応）」「わからない」と答えるなど、高校や進学塾での4技能対策は意外にも進んでいない印象です。

また、教員が最も力を入れたい分野は「スピーキング」でしたが、実際に実施されている授業は「リーディング」80%、「ライティング」79%、「リスニング」74%と続き、「スピーキング」は最も少ない59%でした。とくに高校や進学塾での「スピーキング」対策が弱く、こうした傾向には現行の大学入試の影響が考えられます。

とはいえ2020年の大学入試改革を目前に控え、英語4技能対策もいよいよ待ったなしの状況です。そこで気になるのが英語4技能対策の課題です。アンケートの結果、「教員のスキル不足」が74%とほかの課題を大きく引き離して最多であることが分かりました。さらには「適切な教材・コンテンツ不足」「生徒の学習時間が少ない」「教員の準備時間が足りない」「教員不足」「受験英語と実用英語のギャップ」「生徒の意欲が低い」など山積する課題が浮き彫りとなっています。

本アンケートではまた、近年注目されるAIをはじめとした最新技術を取り上げ、「スピーキング・ライティング対策をAIで」など、これからの英語教育で求められる最新技術活用の在り方についても言及しています。

3. 本調査結果のポイント

■ 遅れる英語4技能対策、高校・進学塾の3分の1が「実施予定なし」「わからない」

アンケートではまず、学校や塾における英語4技能教育の現状を聞いた。

英語4技能すべてに対応した授業を「既に実施している」と回答したのは45%で過半数に満たず、「実施予定はない（4技能すべてには未対応）」「わからない」は全体の3分の1を占めることが分かった。学校別にみると、中学校では英語4技能すべてへの取り組みが進んでいる一方、公立高校教員の35.7%、受験対策塾・予備校講師の34.9%が「実施予定はない」「わからない」と答えるなど、高校や進学塾での4技能対策は意外にも進んでいない印象だ。

■ 理想は「スピーキング」強化、現実には「リーディング」「ライティング」が主流

実際に英語4技能対策として実施されている授業は「リーディング」80%、「ライティング」79%、「リスニング」74%と続き、「スピーキング」は最も少ない59%だった。しかしながら、教員が最も力を入れたいと答えたのは「スピーキング」で理想と現実との乖離が感じられる。

「スピーキング」の授業は小・中学校では100%実施されているが、高校になると57.1%（公立高校）、50%（私立高校）へと落ちる点が注目される。受験対策塾や予備校での実施率も低い（44.2%）。こうした傾向の要因のひとつに現行の大学入試の影響が考えられる。2020年に始まる「大学入学共通テスト」では英語4技能を測るために民間の資格・検定試験の活用が見込まれており、現在主流の「読む」「聞く」力を問う問題から「書く」「話す」力を問う問題の増加が確実視されている。新しい共通テストは2017年度現在の中学3年生から受験することになるため、改革前の現行の大学入試を受けることになる現高校生に対しては従来の英語教育を大きく変えることなく実施されている可能性も考えられる。もちろん、現行の学習指導要領でも高校における英語4技能の育成が求められているはずだが、その対応はまだ十分ではないようだ。

■ 最大の課題は「教員のスキル不足」、個人の裁量に委ねられている現状か

英語4技能対策に関して教育現場が抱える課題を尋ねた結果、「教員のスキル不足」74%が最も多かった。以下「適切な教材・コンテンツ不足」49%、「学習時間が少ない」37%、「教員の人員不足」36%など。

最大の課題である教員のスキル不足については、

「自分の発音が心配（50代小学校教員）」「私自身の英語力のなさ（20代小学校教員）」

「専門的に何も指導されていない教員による無免許英語指導（40代小学校教員）」

「学校の教師の授業が下手すぎて生徒が学校の授業を活用できない（60代受験対策塾・予備校講師）」

など自他ともに厳しい意見が相次いだ。

教員側も81%が英語力向上のため自主的な取り組みを行うなど努力している。一方で「研修不足（50代小学校教員）」「古い形の指導方法以外を学ぶチャンスや場所がない（50代受験対策塾・予備校講師）」といった声もあり、英語4技能の向上や指導法の確立に至るまでが教員一人ひとりの裁量に委ねられてしまっている現状が読み取れる。

■ 「受験英語と実用英語のギャップ」「準備時間不足」「生徒の意欲低下」など山積する課題

英語教育全般としては「受験英語と実用英語とのギャップ」「授業運営・指導方法の悩み」「準備時間が足りない」といった課題も挙げられている。また、生徒に関しては「意欲が低い」「学力差が広がっている」「英語力が低下している」と悩む声が多かった。教員だけの問題ではなく、環境も含めた総合的な対策が必要と考えられる。

■「スピーキング・ライティング対策をAIで」これからの英語教育で求められる最新技術活用の在り方とは

近年、AI（人工知能）をはじめとした最新技術の教育活用が注目されているが、どのようなものがあれば役立つのだろうか？現場の教員からは「ICT環境の充実」「英会話に特化したAI」「進化した教材」「英語を使う機会の増大」などの意見が挙げられた。

具体的には、

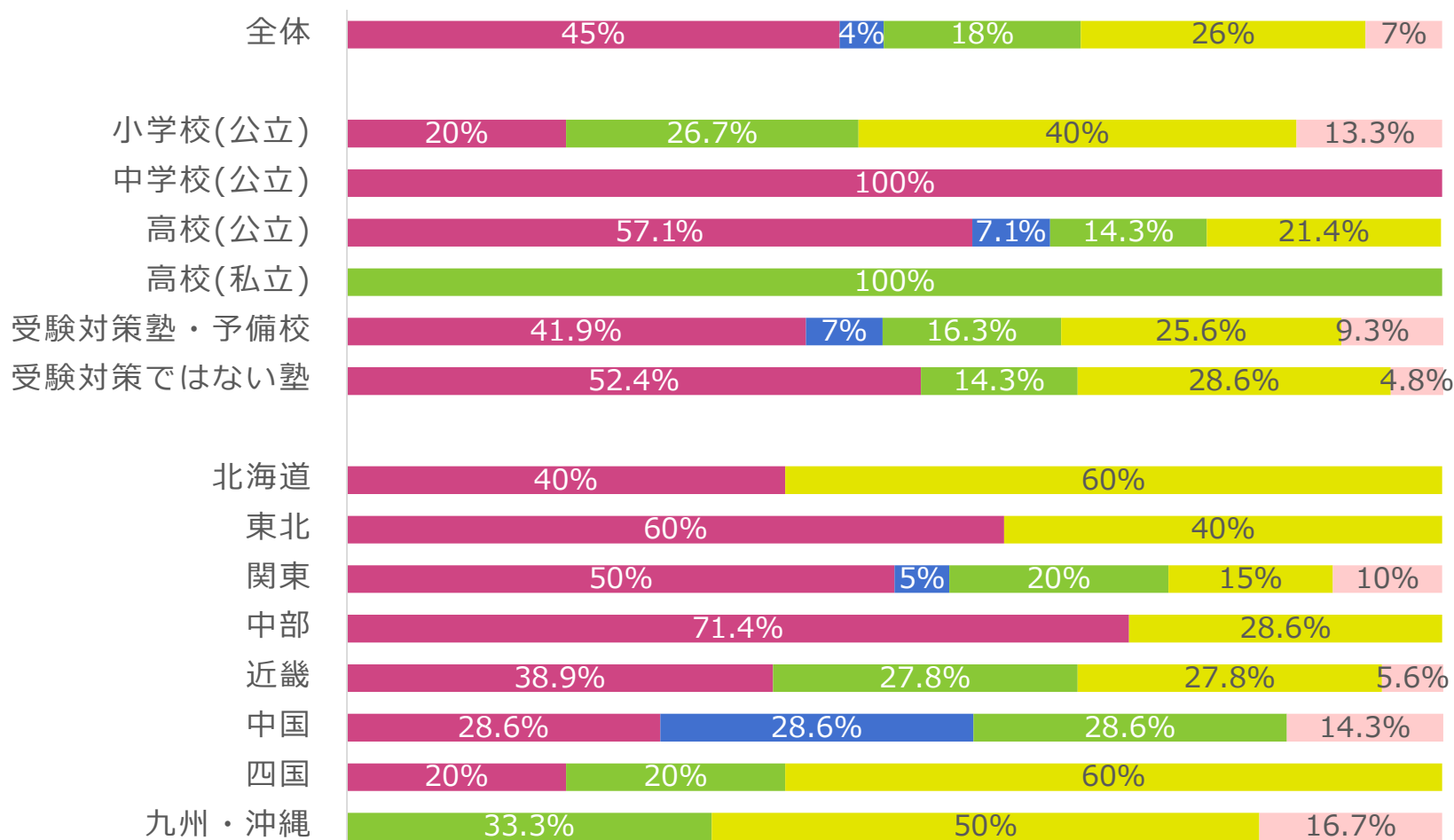
「ICT環境が整いタブレット等が自由に使い海外と結んで英会話等の学習ができる（50代高校教員）」
「フリートークができるデバイス（50代受験対策塾・予備校講師）」
「AIとレベルに応じた会話ができる（60代受験対策ではない塾講師）」
「質問に即座に答えてくれる人工知能（50代受験対策塾・予備校講師）」
「視覚的な教材（50代小学校教員）」
「学習者(特に小学生)がワクワクして1人で繰り返し学習できるアイテム（50代受験対策ではない塾講師）」
「文法や間違いを気にせずコミュニケーションを取れる自由な空間（50代受験対策ではない塾講師）」
等。これらは技術的にはすでに実現可能であり、教育現場に導入されれば前述した教員のスキル不足などの課題をフォローできる可能性がある。

AI活用についてはこれからの分野だが、スピーキングやライティング対策として期待できる方法を尋ねたところ、小学校、公立高校教員の約5人に1人が「AIによるトレーニング」と回答するなど注目され始めている。AIトレーニングなら間違いやまわりの目を気にする必要もないうえ、教員自身の英語力向上にも活用できる。すでに英語4技能に対応したAI教材を教員が簡単に作成できるサービスやAIが即座に発音診断や会話フィードバックを返してくれるサービスなどもある。いずれにせよ英語4技能対策に残された時間は少なく、最新技術もうまく活用しながら真の英語力育成や国際社会における競争力強化を実現することが期待される。

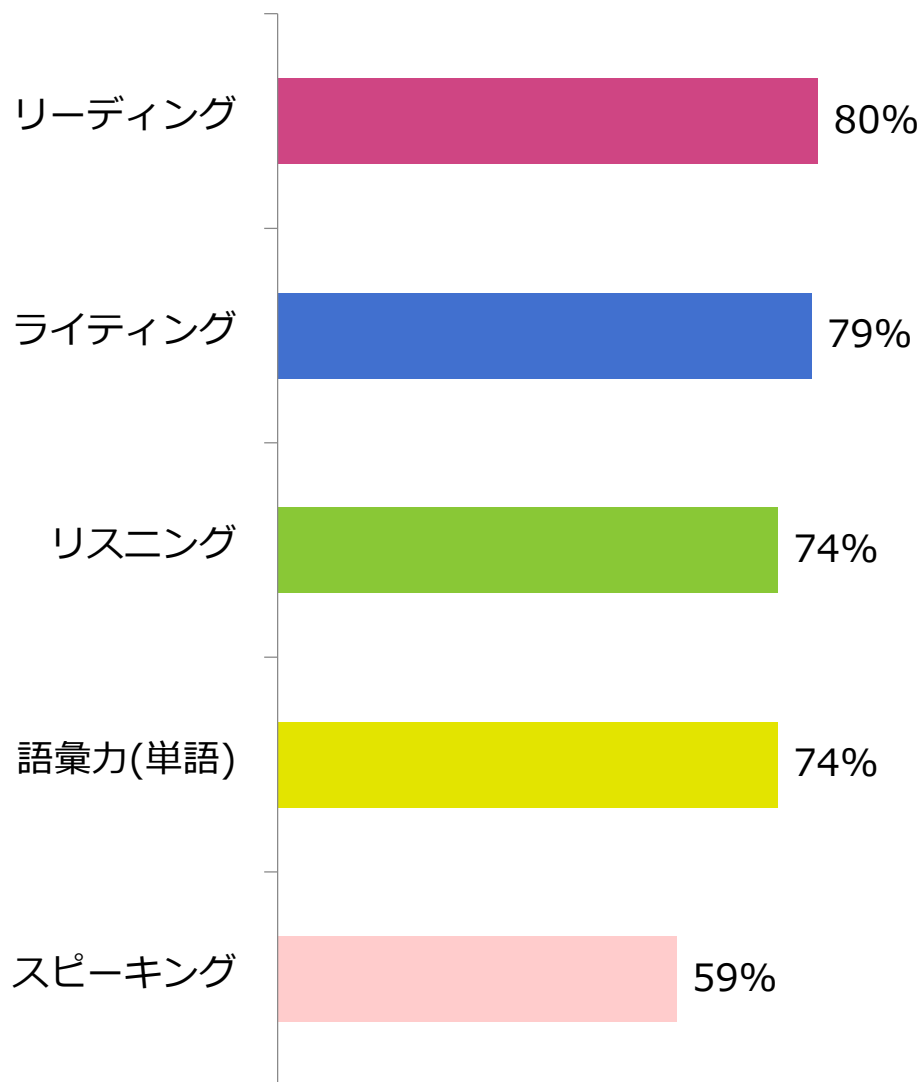
5. アンケート調査結果

1. あなたの学校、塾では英語4技能すべてに対応する講座・授業を実施していますか？

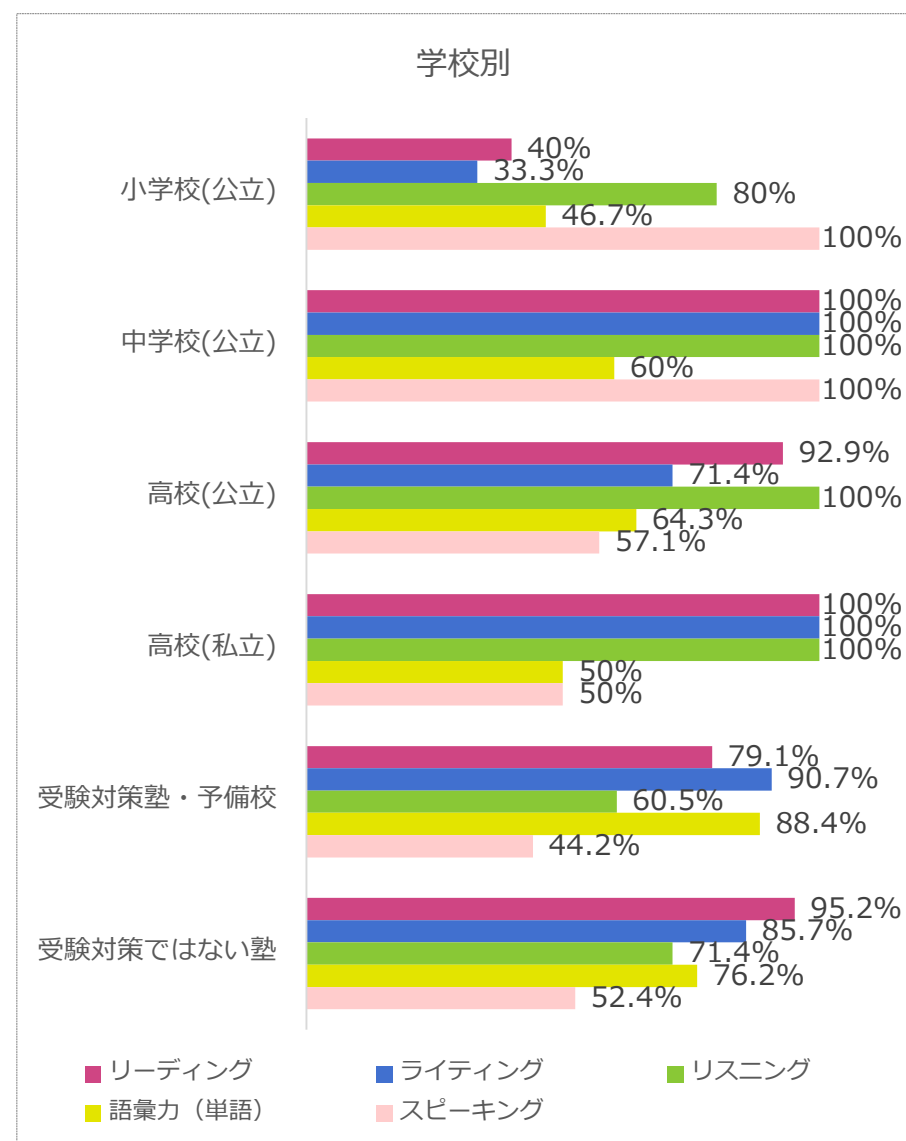
■ 既に実施している ■ 年内に実施予定 ■ 実施予定だが時期未定 ■ 実施予定はない(4技能すべてには未対応) ■ わからない



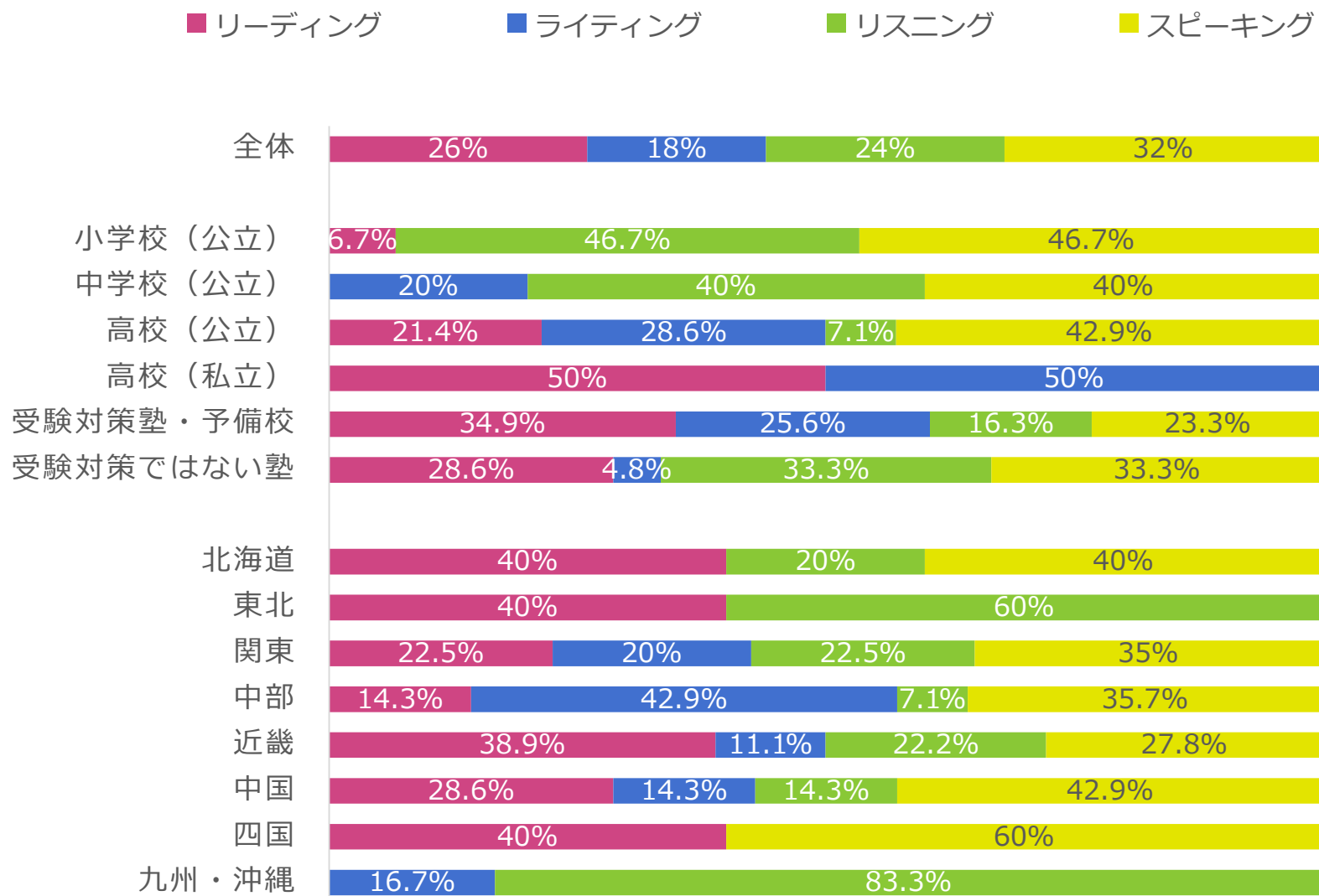
2. 英語4技能教育として実施されている講座・授業の分野をお答えください。



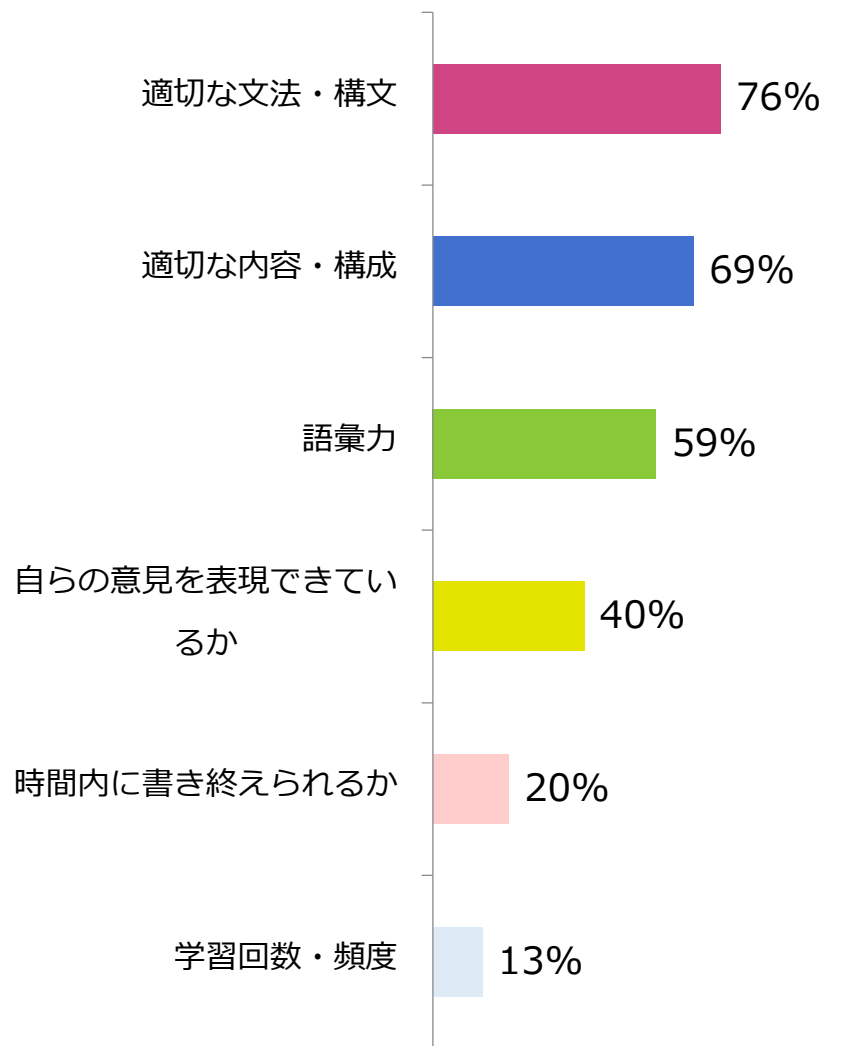
注1) 複数回答
注2) 「その他」は省略



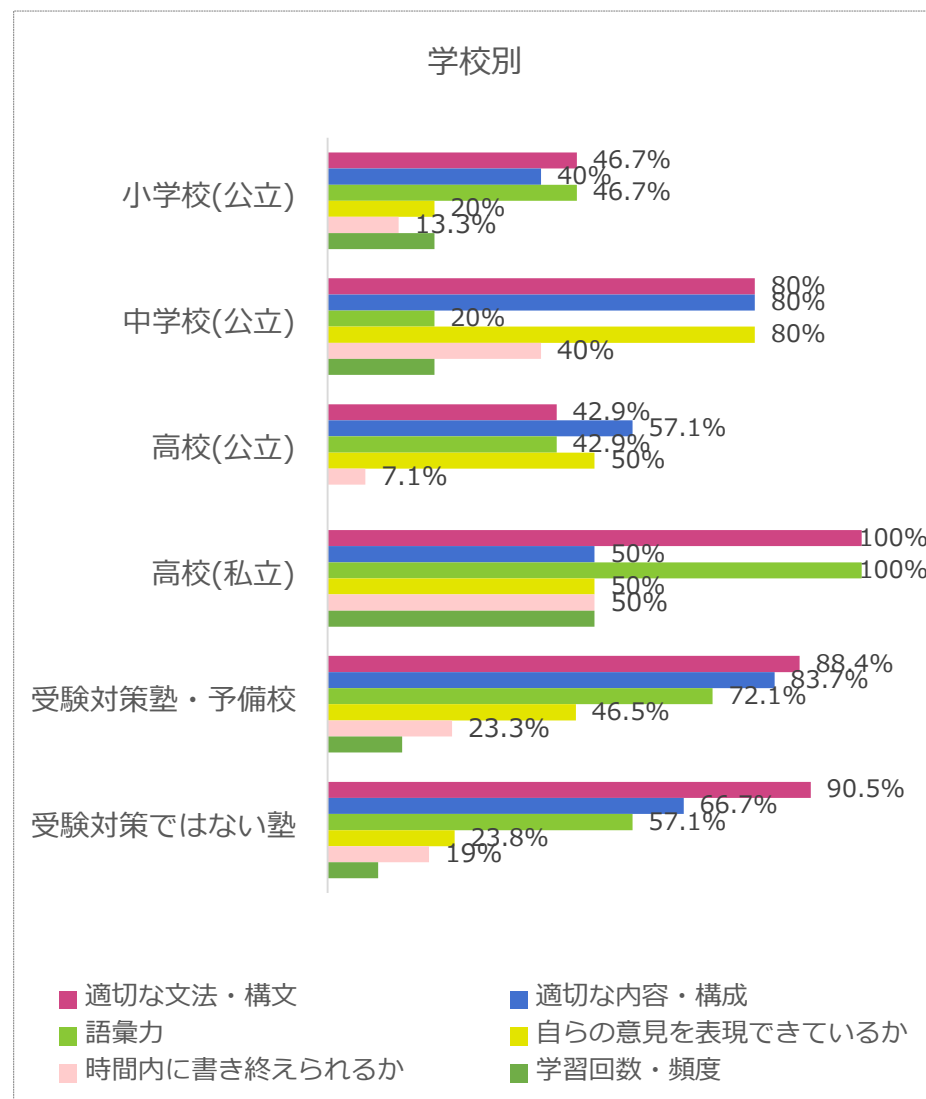
3. 英語4技能のうち、個人的にもっとも力を入れたい分野はどれですか？



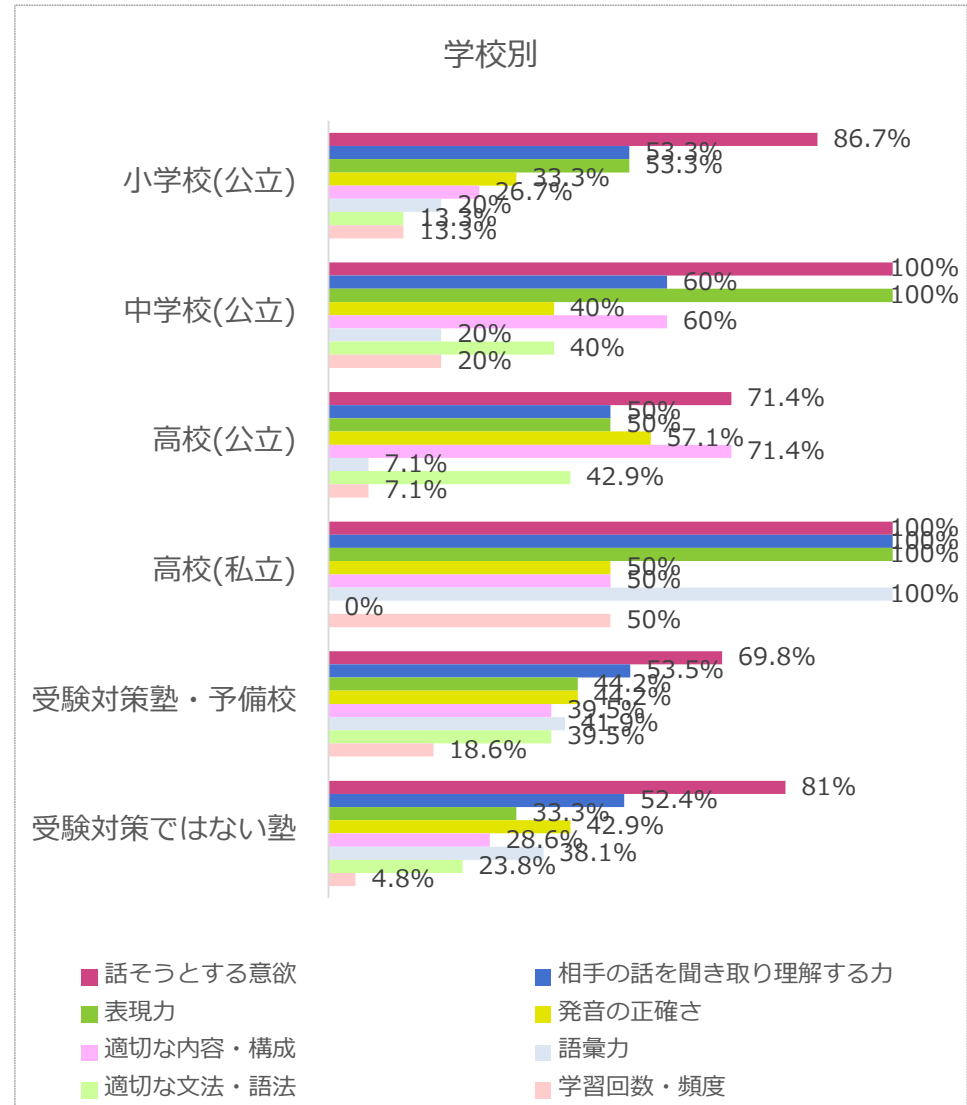
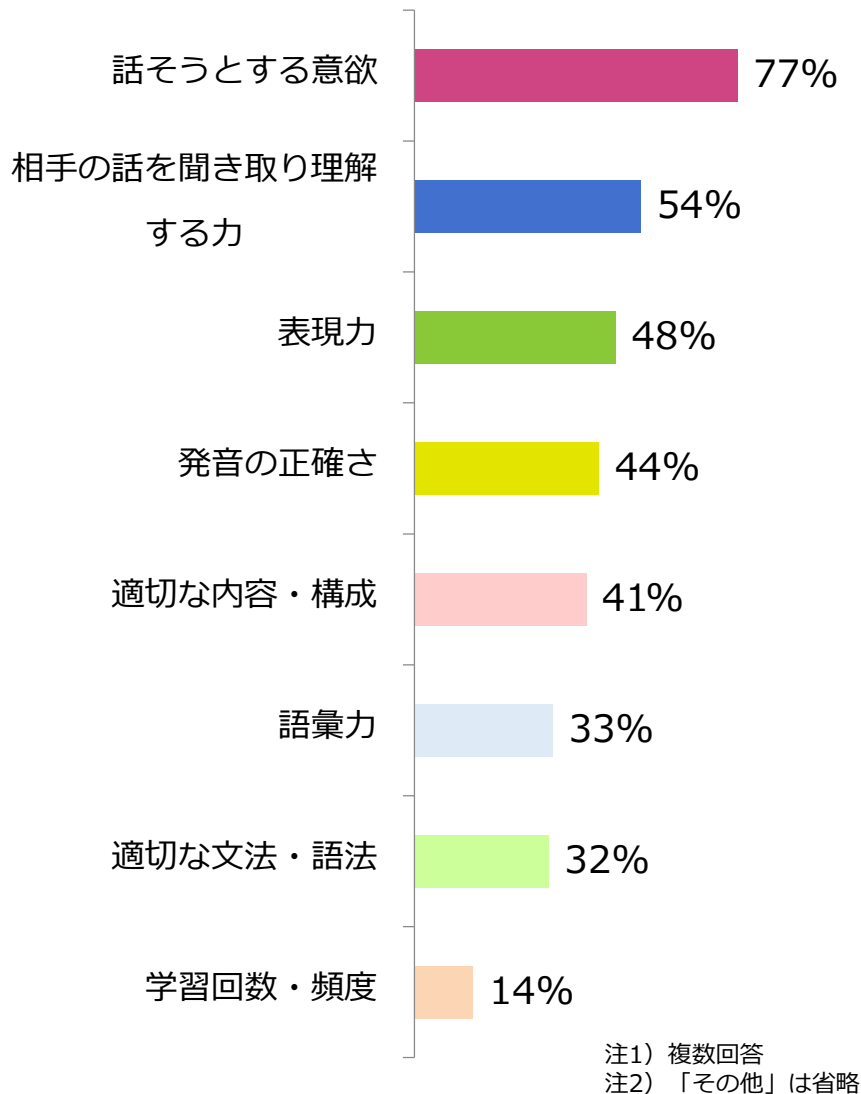
4-1. ライティング対策の指導をされている方は指導の際に何を重視されていますか？



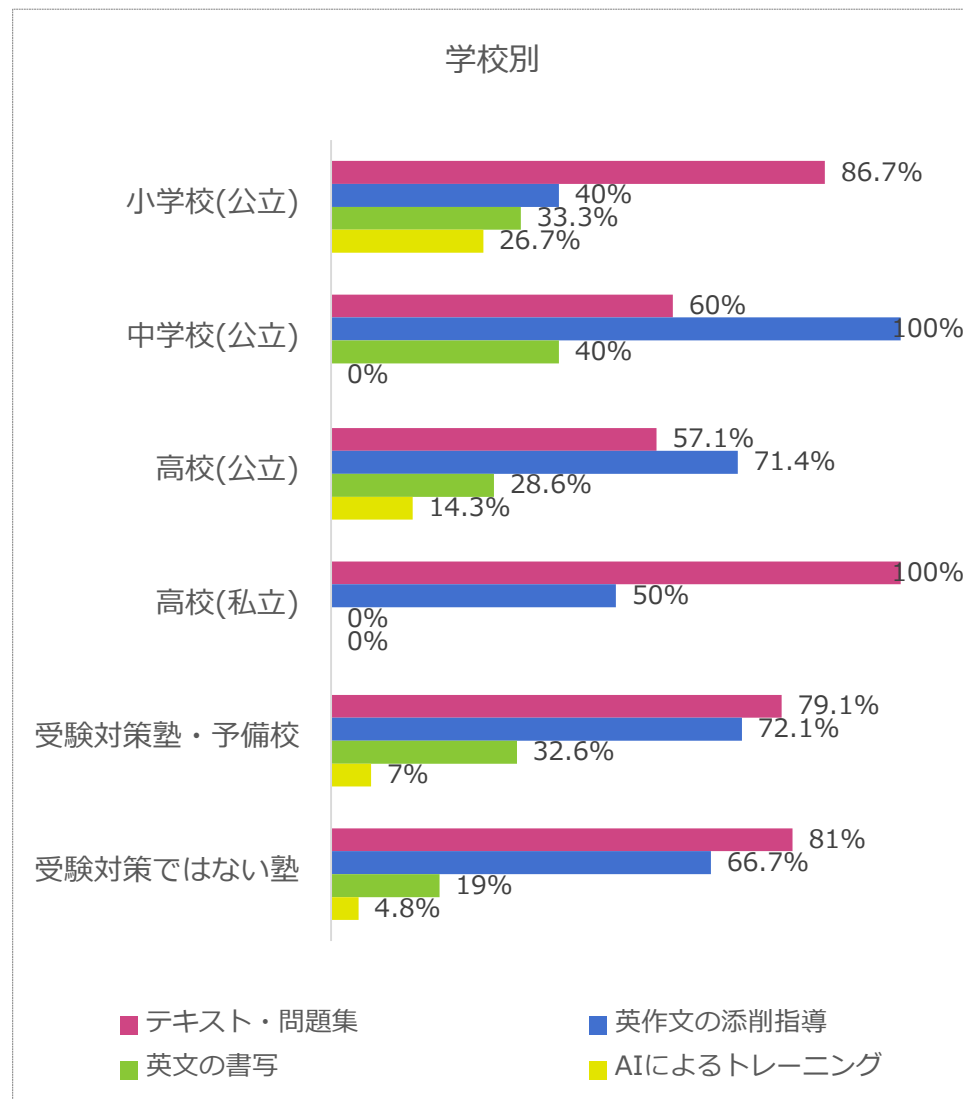
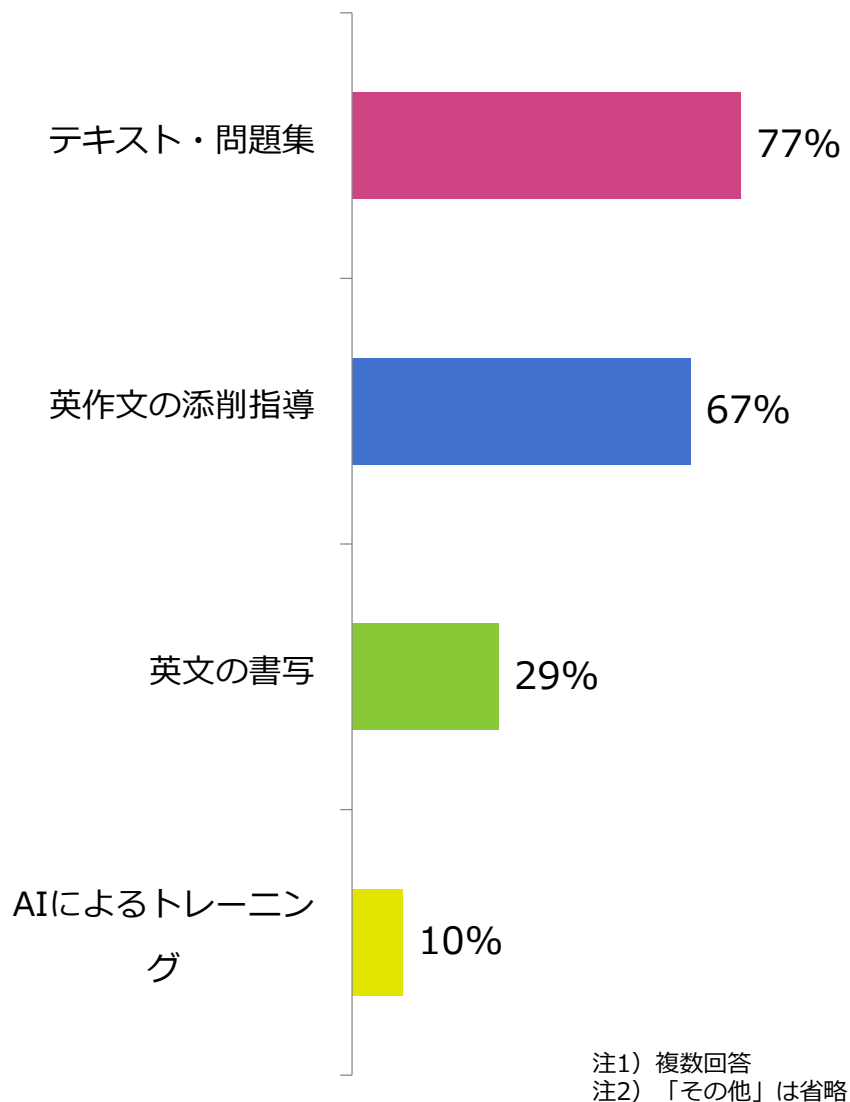
注1) 複数回答
注2) 「その他」は省略



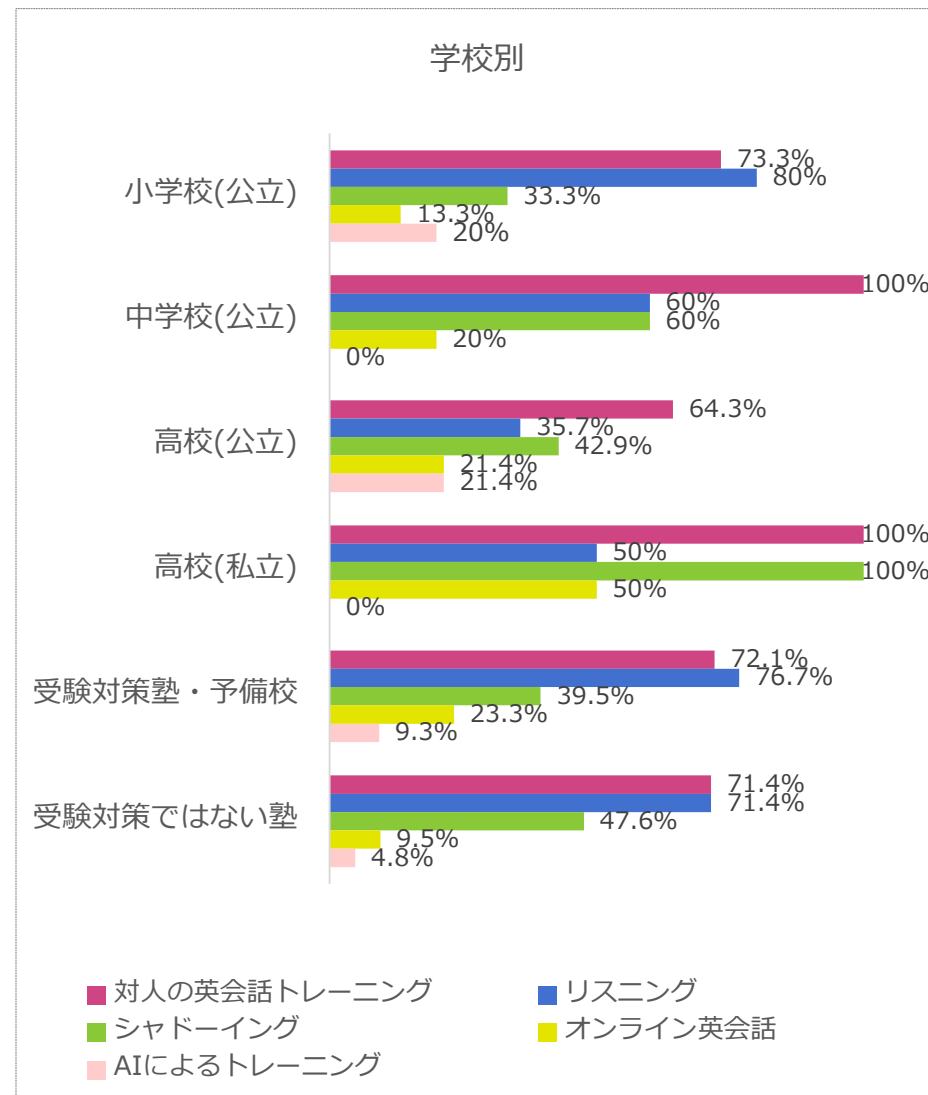
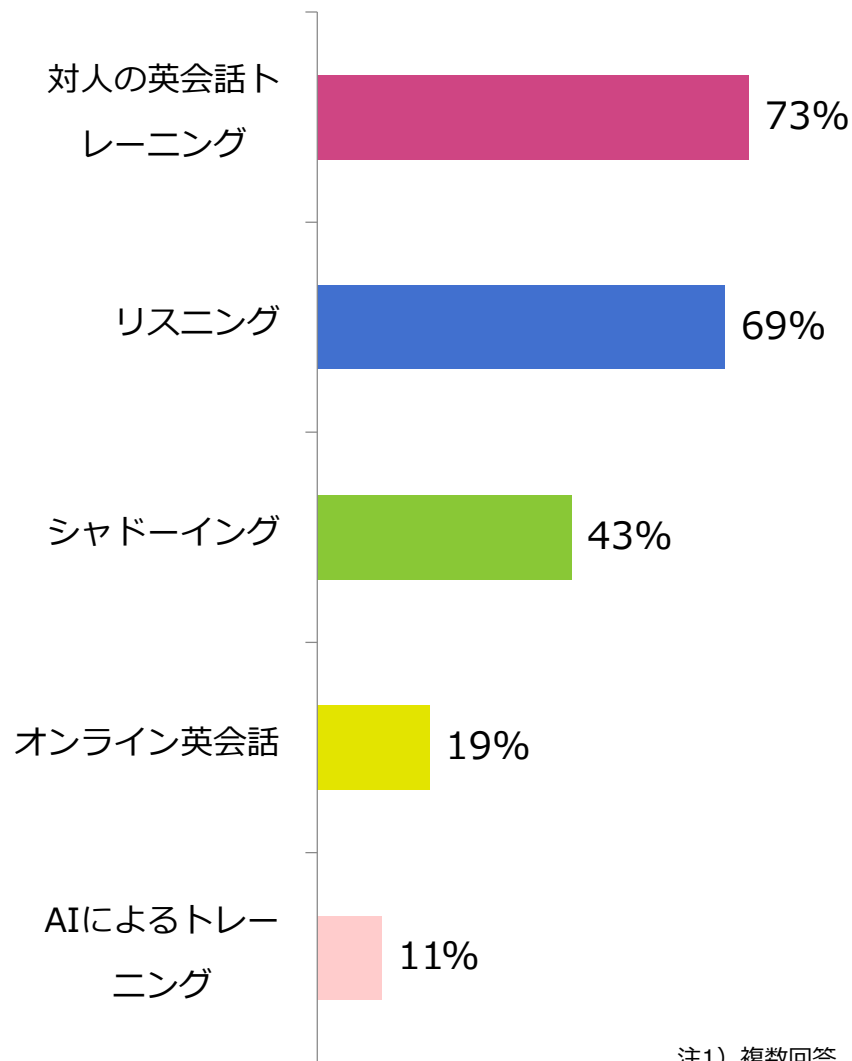
4-2. スピーキング対策の指導をされている方は指導の際に何を重視されていますか？



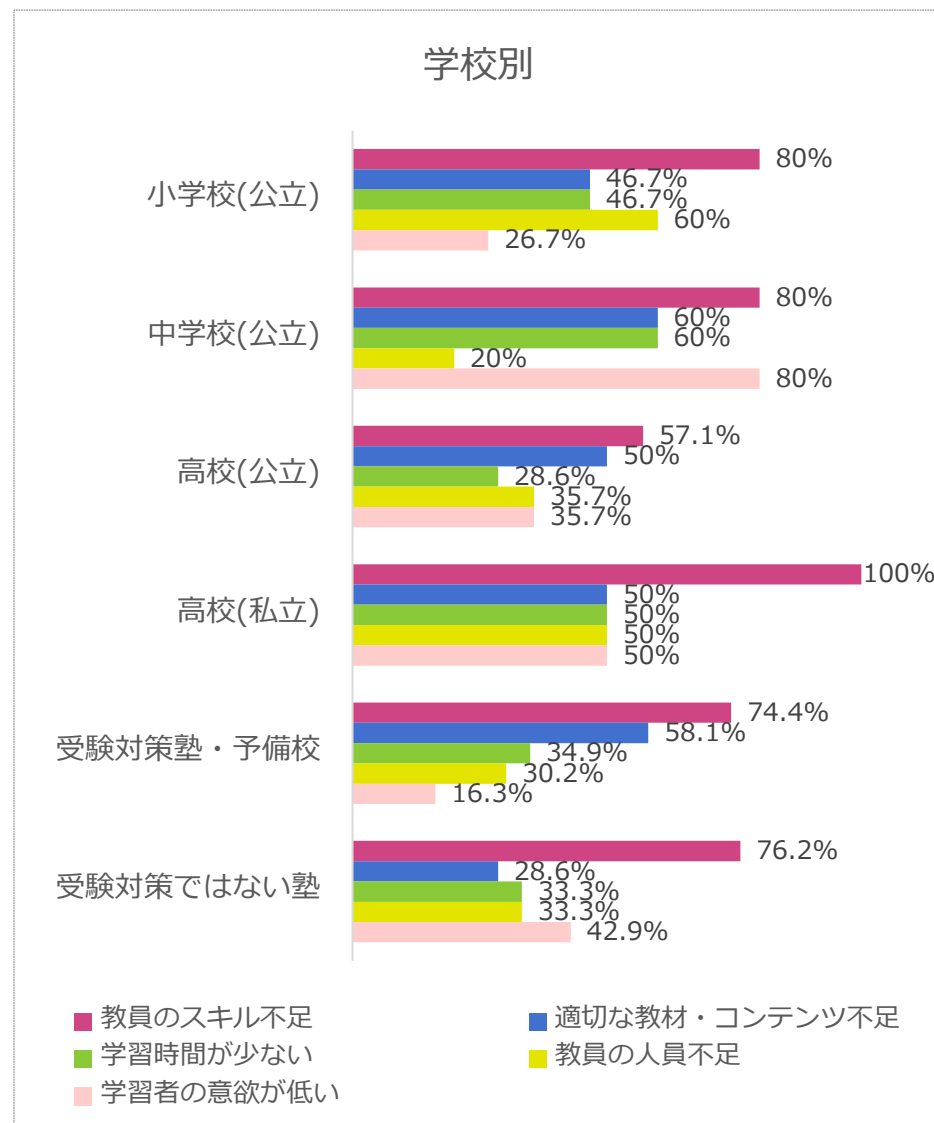
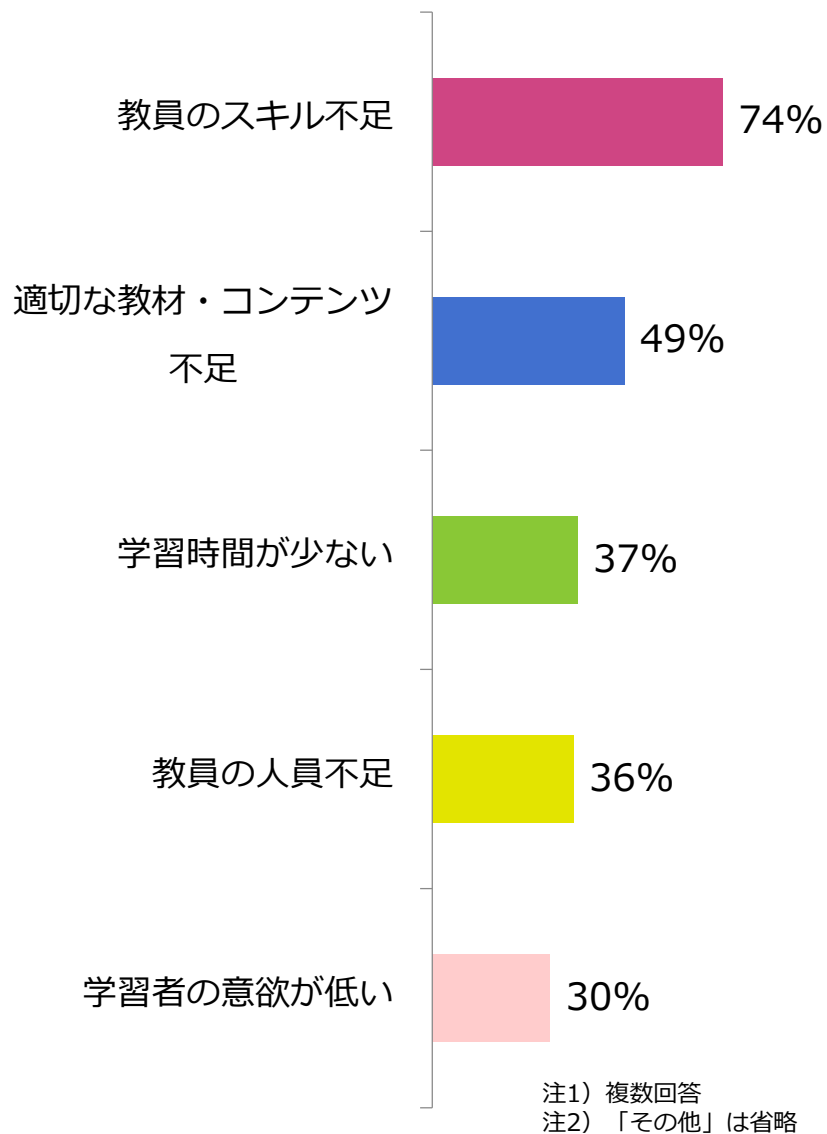
5-1. ライティング対策として期待できる方法は次のうちどれですか？



5-2. スピーキング対策として期待できる方法は次のうちどれですか？



6. 英語4技能対策の課題は何だと思えますか？



7. 英語教育全般に対し、現在抱えている問題点や課題を自由にお書きください。

■ 教員自身、授業、英語教育の仕組み全般に関すること

受験英語と実用英語とのギャップ 10%

- ・ 高校入試にスピーキング力は問われないのでどうしてもリスニングと文法、またはライティングが授業の中心になってしまう（50代中学校教員（公立））
- ・ 受験英語に傾いており実用英語が十分に教えきれていない（30代受験対策塾・予備校講師）
- ・ 受験用の英語と実用英語の間のギャップが依然として大きい（60代受験対策塾・予備校講師）
- ・ 小学校の英語教育と中学以降の連携が取れていないこと（60代受験対策塾・予備校講師）
- ・ 翻訳重視の学校がいまだに多いので英語で考えることができるよう指導している（60代受験対策塾・予備校講師）
- ・ 情報が確定していない（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・ 文法や点数をとることだけにこだわらなければならないこと（50代受験対策ではない塾の講師）

教員の英語力不足・研修不足 10%

- ・ 自分の発音が心配（50代小学校教員（公立））
- ・ 私自身の英語力のなさ（20代小学校教員（公立））
- ・ 自分の発音が手本にできるほど素晴らしくはないこと（50代小学校教員（公立））
- ・ 研修不足（50代小学校教員（公立））
- ・ 大学で専門的に何も指導されていない教員による無免許英語指導（40代小学校教員（公立））
- ・ 古い形の指導方法以外を学ぶチャンスや場所がない（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・ 学校の教師の授業が下手すぎることで、生徒が学校の授業を活用できない（60代受験対策塾・予備校講師）

授業運営・指導方法の悩み 8%

- ・ 学校の補習にあたるべきか、生徒の英語力向上にあたるべきか（50代受験対策ではない塾の講師）
- ・ 高校生の英語授業で学校の授業をどの程度扱うか（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・ 生徒の学力差を埋める授業の行い方 生徒主体のアクティブラーニングを取り入れた授業のやり方（30代高校教員（公立））
- ・ 少人数授業ができていない（50代中学校教員（公立））

7. 英語教育全般に対し、現在抱えている問題点や課題を自由にお書きください。

■ 教員自身、授業、英語教育の仕組み全体に関すること

予算不足と準備時間不足

5%

- ・教材教具の充実と指導できる教室の整備。教科指導を行うための準備の時間の確保（50代中学校教員（公立））
- ・機器をそろえたり、授業の準備をする時間と予算がない（50代高校教員（公立））
- ・予算不足。使えるパソコンの能力不足。雑用が多くて教材が作れない。CALL教室がパソコンだけあって中身が空っぽ。教室の移動が多すぎて重いプロジェクターを運ぶのが大変すぎる。無能な管理職にはあたらしい形の教育法が理解できない（60代高校教員（公立））
- ・電子黒板が欲しい（50代受験対策塾・予備校講師）

良い教材がない

3%

- ・良い教材がない（70代受験対策塾・予備校講師）
- ・興味をもてるような教材が少ない（50代受験対策ではない塾の講師）
- ・文法の理解があまりできない教材（50代受験対策ではない塾の講師）

7. 英語教育全般に対し、現在抱えている問題点や課題を自由にお書きください。

■生徒に関すること

生徒の意欲が低い

13%

- ・子どもの意欲低下（50代小学校教員（公立））
- ・生徒の集中力（20代高校教員（私立））
- ・学習意欲の低い高校なので英語への勉強の動機付けが難しい（50代高校教員（公立））
- ・集中力や忍耐力が足りない生徒への指導（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・生徒の集中力が低い事（50代受験対策ではない塾の講師）
- ・学習者の意欲によって習熟度が左右される。クラス内の生徒のレベルに差が出る点（40代受験対策ではない塾の講師）
- ・生徒のやる気を出させるのは教える側にも課題があるが、生徒の授業態度などが年々悪くなっており、生活指導なども先生側が行わなければならない現状に嫌になることがある（40代受験対策ではない塾の講師）
- ・授業に熱を入れると、生徒のやる気の無さとのギャップで苦しむので、授業料の分だけ授業中にカリキュラムをこなせばよいと思いたいがどうしても熱が入ってしまい虚しい日々を過ごしています。稀にいる熱心な生徒に心を救われています（30代受験対策塾・予備校講師）

学力差と英語力の低下

11%

- ・学力に差がある（40代中学校教員（公立））
- ・生徒の低学力（20代高校教員（公立））
- ・生徒の学力の幅が非常に大きいこと。英語が苦手な生徒が多いこと（40代高校教員（公立））
- ・年々生徒の英語力が低下している（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・基礎学力の著しい低下。読み書きがおぼつかない子供に何をやっても無駄なのだが、それを保護者が受け入れられない（40代受験対策塾・予備校講師）
- ・専門学校へ教えに行っているが英語が苦手だった学生が多いので全体的に難しい（50代受験対策ではない塾の講師）

7. 英語教育全般に対し、現在抱えている問題点や課題を自由にお書きください。

■ 生徒に関すること

特定の分野が弱い

10%

- ・文法をやりすぎ（60代小学校教員（公立））
- ・単語を理解していないのに楽しくなんて出来ない。つみあげも必要。それが出来ていないように思う（30代小学校教員（公立））
- ・スピーキング力（30代受験対策塾・予備校講師）
- ・喋れない（40代受験対策塾・予備校講師）
- ・発音が悪い（40代受験対策塾・予備校講師）
- ・リスニングが弱い生徒が多い（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・子どもたちの語彙力（30代受験対策塾・予備校講師）
- ・書いても読めない生徒がいる（60代受験対策ではない塾の講師）
- ・生徒はリスニング力はあるが、読み書きが苦手（30代受験対策ではない塾の講師）

生徒の時間がない

8%

- ・リスニングやスピーキングに割ける時間が少ない（30代高校教員（私立））
- ・スピーキングの時間が十分に取れない（50代高校教員（公立））
- ・文法に費やす時間が無い（30代受験対策塾・予備校講師）
- ・表現時間が足りない（40代受験対策塾・予備校講師）
- ・生徒達がとにかく忙しく学習の時間がとれないこと。部活や学校行事が多すぎると思う（50代受験対策ではない塾の講師）

継続力がない

3%

- ・その場限りで継続がないので身につかない（30代小学校教員（公立））
- ・全般に真面目に素直に授業に臨んでくれるのは有難いが、それはただ単に新しい事柄に接したにすぎず、繰り返し復習してやっと定着して実力となると理解している生徒が殆どいない。この繰り返し復習する習慣をつける事を口を酸っぱくして生徒に注意、確認していきたい（50代受験対策塾・予備校講師）

8. ご自身の英語4技能の向上のために行っていることがあれば自由にお書きください。

ニュース・映画・ドラマ

17%

- ・テレビの英会話講座を聴く（30代小学校教員（公立））
- ・TIMEを読む（50代高校教員（公立））
- ・映画を字幕なしで見ると日常に英語を取り入れている（30代予備校・受験対策塾講師）
- ・海外ドラマを見て英語力維持（50代予備校・受験対策塾講師）
- ・英語のニュースの聴取を日課にしている（50代受験対策ではない塾の講師）
- ・英語番組、ドラマなどをたくさん見る。できれば字幕は英語。SNS等も英語で書く。毎日の生活を送るなかで頭のなかで英語で考えてみる。（40代受験対策ではない塾の講師）

ネイティブとのコミュニケーション

16%

- ・ALTと会話する（50代小学校教員（公立））
- ・ネイティブの友人とコミュニケーションをとっている（40代受験対策塾・予備校講師）
- ・英語圏の友人が多い。余暇に英語通訳のボランティアをしている（60代受験対策塾・予備校講師）

リーディング

9%

- ・毎日英文を音読する（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・多読 勉強量を増やす（60代受験対策塾・予備校講師）
- ・音読を多用する（60代受験対策ではない塾の講師）

リスニング

7%

- ・英語の歌のディクテーションとシャドーイング（50代高校教員（公立））
- ・リスニングに意識して取り組む（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・シャドーイングや、暗誦、ディクテーションなど、リスニング中心に他の技能も同時に訓練出来るようにしている（40代受験対策は行わない塾講師）

8. ご自身の英語4技能の向上のために行っていることがあれば自由にお書きください。

資格試験学習

5%

- ・外部試験の勉強 英語セミナーへの参加（30代高校教員（公立））
- ・TOEIC、TOEFLの学習（30代受験対策塾・予備校講師）
- ・TOEICを受験しリスニング力を落とさないようにする（50代受験対策ではない塾の講師）

文法・語彙力

5%

- ・基本的な語彙と文法の把握（50代高校教員（公立））
- ・語彙力、例文などを暗唱（40代受験対策塾・予備校講師）

教材研究

3%

- ・教材研究（50代小学校教員（公立））
- ・大学入試問題の研究（60代受験対策塾・予備校講師）

その他

19%

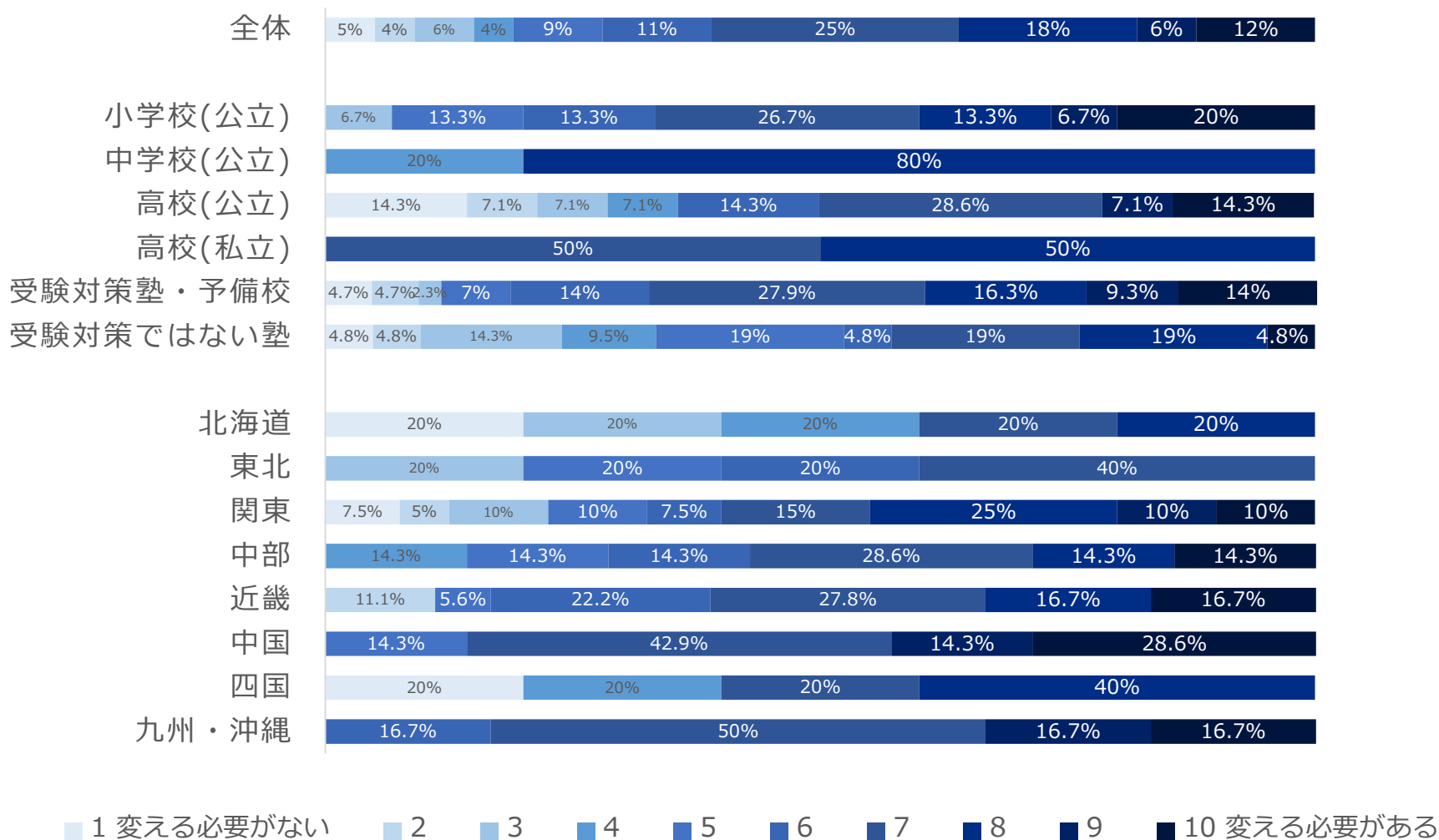
- ・skypeを使って海外の学校との交流を気軽にできる環境を整備している（50代高校教員（公立））
- ・授業前に該当する内容のテキストを解いて自らの理解度確認（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・情報収集（50代受験対策塾・予備校講師）

何もしていない

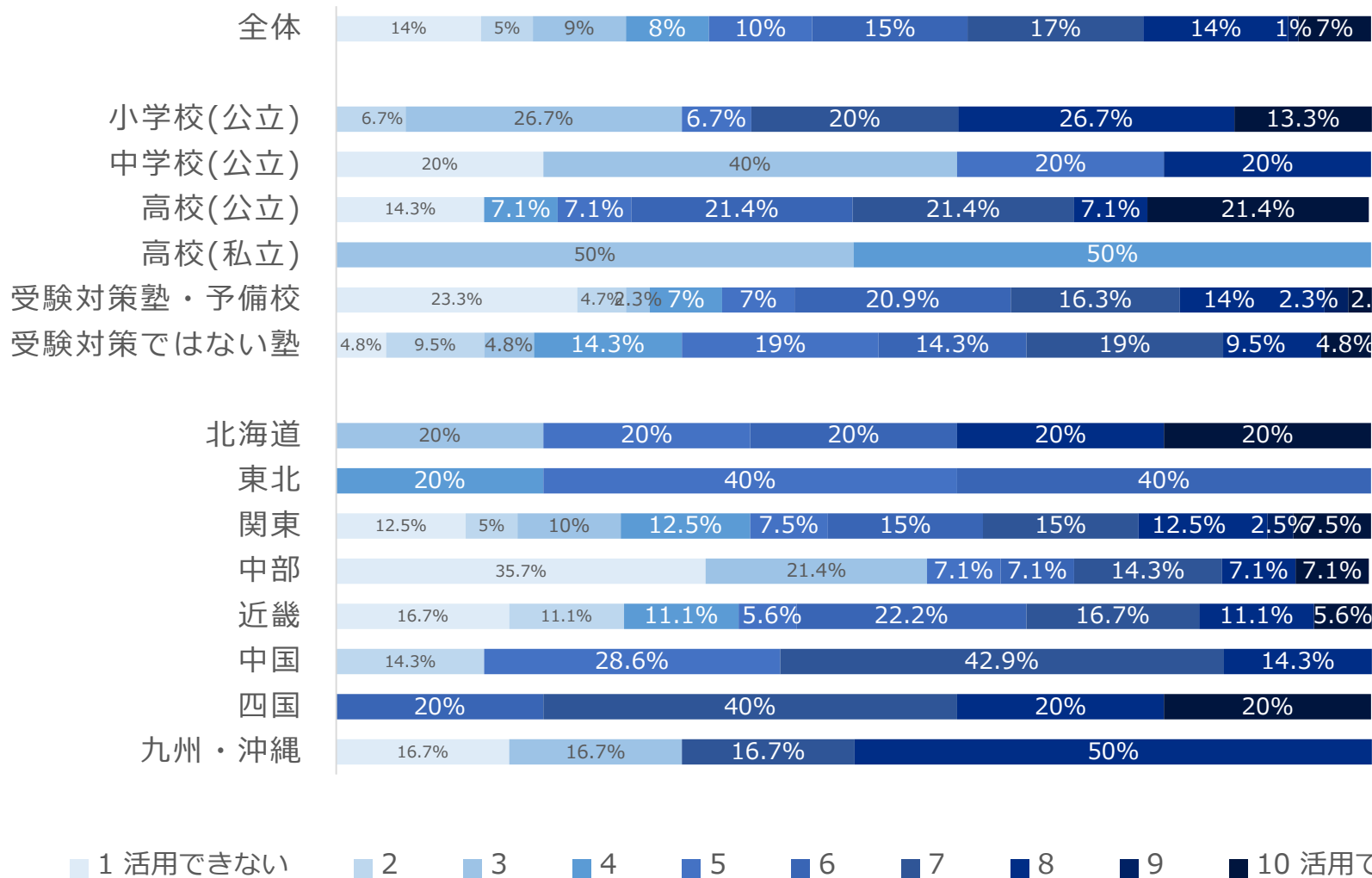
19%

- ・自分の英語技能向上のために行っていることはない（40代小学校教員（公立））
- ・基本的にはない。あくまでも受験対策しか行っていないので（40代受験対策塾・予備校講師）
- ・以前英検1級までの取得のための勉強をしていたが今は特に何もしていない（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・それ程英語に興味のある生徒が相手ではないのでそこまでできる環境にはない（50代受験対策は行わない塾講師）

9. 英語4技能対策について今ご自身で行っている教育を変える必要がありますか？



10-1. 現在、AI（人工知能）をはじめとした最新技術の教育活用が注目されていますが、ご自身の授業においてAIは活用できそうですか？



10-2. 現在、AI（人工知能）をはじめとした最新技術の教育活用が注目されていますが、どのようなものがあれば教員・学習者共に実りのある学びが実現できそうですか？

ICT環境の充実・英会話に特化したAI 21%

- ・AIとレベルに応じた会話ができる（60代受験対策ではない塾の講師）
- ・フリートークができるデバイス（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・質問に即座に答えてくれる人工知能（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・日本語から英語への通訳機器のようなもの（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・オールマイティロボット（50代受験対策ではない塾の講師）
- ・ネットワーク環境（40代中学校教員（公立））
- ・最小限のハード・ソフトで通常教室で実施可能なもの（40代高校教員（公立））
- ・ICT環境が整いタブレット等が自由に使え、海外と結んで英会話等の学習ができる（50代高校教員（公立））
- ・前任校では実際にCALL教室で音声認識エンジン搭載のソフトウェアを利用して授業を行っていた。各学校に英語科教員の人数と同数のCALL教室を設置できれば飛躍的に学習者の学力が伸びると思う（60代高校教員（公立））

進化した教材 18%

- ・視覚的なもの（50代小学校教員（公立））
- ・学習者（特に小学生）がワクワクして1人で繰り返し学習できるアイテム（50代受験対策ではない塾の講師）
- ・手軽に使える視聴覚教材や規制が厳しくならないようなインターネット環境（30代高校教員（公立））
- ・リスニング力をアップするためのディクテーション教材（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・ニュースやドラマのような生の教材（60代受験対策塾・予備校講師）
- ・本人が進んで意欲的になれるような教材（60代受験対策塾・予備校講師）
- ・よく使われる口語的表現テキスト。少ない単語でできる表現のテキスト（50代受験対策ではない塾の講師）

英語を使う機会を増やす 14%

- ・とにかくネイティブと話をする機会を増やすことだと思う（60代受験対策ではない塾の講師）
- ・英語だけで会話する環境（50代受験対策ではない塾の講師）
- ・英語表現においていかに慣れるかを指導できたらいいと思う（70代受験対策塾・予備校講師）
- ・機会の増加（30代受験対策塾・予備校講師）
- ・日本語は使えないという縛り（30代受験対策ではない塾の講師）
- ・文法や間違いを気にせずコミュニケーションを取ろうとする自由な空間（50代受験対策ではない塾の講師）

10-2. 現在、AI（人工知能）をはじめとした最新技術の教育活用が注目されていますが、どのようなものがあれば教員・学習者共に実りのある学びが実現できそうですか？

ネイティブ教員の増員

13%

- ・ALTに代わる役割（30代小学校教員（公立））
- ・ALTの増員。毎時間ALTと授業をするだけでも違う（50代中学校教員（公立））
- ・もっと授業に取り組む意欲のあるALT（50代高校教員（公立））
- ・外国人講師の採用（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・ネイティブスピーカーのチェック（40代受験対策塾・予備校講師）

※ALT…外国語指導助手(Assistant Language Teacher)

根本的な英語教育の改革

6%

- ・根本的な日本の英語教育の改革。現場で見ているだけでは英語力はつかないと思う。海外でもスペルや子音について小さい時に教えるのにそれを無視してでは無理だと思う（30代小学校教員（公立））
- ・教育にもっと予算を割くこと。子どもが学ぶ内容を精選すること。保護者のわがままを規制すること。子どもや教師が安心して学べる環境を整えること（50代小学校教員（公立））
- ・英語で一番軽視されているのはスピーキングだと思う。具体的にインセンティブがないと学習者は意欲的に取り組まないのて大学受験などでスピーキングに対応したスキルを見る資格が利用できるなどの仕組みがもっとあればいいと思う。具体的な目標がないと教員としても対策のしようがない（30代予備校・受験対策塾講師）
- ・学習の成果を判断する容易な基準（50代受験対策ではない塾の講師）

その他

28%

- ・教員に丸投げせず研修する事。受験対策が要求されるので受験内容と乖離しない事（60代受験対策塾・予備校講師）
- ・アクティブラーニングの出来る環境（40代受験対策塾・予備校講師）
- ・教師が人格・能力共に優れている事（50代受験対策塾・予備校講師）
- ・学習の到達度成果がわかるようなこと。ALTと会話ができるようになっていくなど、学習努力と結果が結び付いていくような学習カリキュラム（50代受験対策ではない塾の講師）
- ・AIに抵抗なければ活用はいいが人間の教師が最上と思う。発音だけでなく物事への理解力が大事（70代受験対策ではない塾の講師）
- ・会話は相互のコミュニケーションを図るものなので、一方通行的な学習の仕方には賛成できない。AIを使う場合は講師がその使用方法を工夫しなければならないと思う（40代受験対策ではない塾の講師）

5. 調査データ ～学校別クロス表～

1. あなたの学校、塾では英語4技能すべてに対応する講座・授業を実施していますか？

		全 体	既 に 実 施 し て い る	年 内 に 実 施 予 定	時 期 は 未 定 だ が	は 未 対 応 ▽	△ 4 技 能 す べ て に	実 施 予 定 は な い	わ か ら な い
全 体		100 100.0	45 45.0	4 4.0	18 18.0	26 26.0	7 7.0		
学 校 別	小学校教員（公立）	15 100.0	3 20.0	- -	4 26.7	6 40.0	2 13.3		
	中学校教員（公立）	5 100.0	5 100.0	- -	- -	- -	- -		
	高校教員（公立）	14 100.0	8 57.1	1 7.1	2 14.3	3 21.4	- -		
	高校教員（私立）	2 100.0	- -	- -	2 100.0	- -	- -		
	受験対策塾・予備校講師	43 100.0	18 41.9	3 7.0	7 16.3	11 25.6	4 9.3		
	受験対策ではない塾の講師	21 100.0	11 52.4	- -	3 14.3	6 28.6	1 4.8		

2. 英語4技能教育として実施されている講座・授業の分野をお答えください。

		全 体	リ ー デ ィ ン グ	ラ イ テ ィ ン グ	リ ス ニ ン グ	語 彙 カ ハ 単 語 V	ス ピ ー キ ン グ	そ の 他
全 体		100 100.0	80 80.0	79 79.0	74 74.0	74 74.0	59 59.0	3 3.0
学 校 別	小学校教員（公立）	15 100.0	6 40.0	5 33.3	12 80.0	7 46.7	15 100.0	- -
	中学校教員（公立）	5 100.0	5 100.0	5 100.0	5 100.0	3 60.0	5 100.0	- -
	高校教員（公立）	14 100.0	13 92.9	10 71.4	14 100.0	9 64.3	8 57.1	- -
	高校教員（私立）	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -
	受験対策塾・予備校講師	43 100.0	34 79.1	39 90.7	26 60.5	38 88.4	19 44.2	1 2.3
	受験対策ではない塾の講師	21 100.0	20 95.2	18 85.7	15 71.4	16 76.2	11 52.4	2 9.5

3. 英語4技能のうち、個人的にもっとも力を入れたい分野はどれですか？

		全 体	リ ー デ ィ ン グ	ラ イ テ ィ ン グ	リ ス ニ ン グ	ス ピ ー キ ン グ
全 体		100 100.0	26 26.0	18 18.0	24 24.0	32 32.0
学 校 別	小学校教員（公立）	15 100.0	1 6.7	- -	7 46.7	7 46.7
	中学校教員（公立）	5 100.0	- -	1 20.0	2 40.0	2 40.0
	高校教員（公立）	14 100.0	3 21.4	4 28.6	1 7.1	6 42.9
	高校教員（私立）	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -
	受験対策塾・予備校講師	43 100.0	15 34.9	11 25.6	7 16.3	10 23.3
	受験対策ではない塾の講師	21 100.0	6 28.6	1 4.8	7 33.3	7 33.3

4-1. ライティング対策の指導をされている方は指導の際に何を重視されていますか？

		全 体	適 切 な 文 法 ・ 構 文	適 切 な 内 容 ・ 構 成	語 彙 力	き 自 ら の 意 見 を 表 現 で き て い る か	れ 時 間 内 に 書 き 終 え ら れる か	学 習 回 数 ・ 頻 度	そ の 他
全 体		100 100.0	76 76.0	69 69.0	59 59.0	40 40.0	20 20.0	13 13.0	1 1.0
学 校 別	小学校教員（公立）	15 100.0	7 46.7	6 40.0	7 46.7	3 20.0	2 13.3	3 20.0	1 6.7
	中学校教員（公立）	5 100.0	4 80.0	4 80.0	1 20.0	4 80.0	2 40.0	1 20.0	- -
	高校教員（公立）	14 100.0	6 42.9	8 57.1	6 42.9	7 50.0	1 7.1	- -	- -
	高校教員（私立）	2 100.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -
	受験対策塾・予備校講師	43 100.0	38 88.4	36 83.7	31 72.1	20 46.5	10 23.3	6 14.0	- -
	受験対策ではない塾の講師	21 100.0	19 90.5	14 66.7	12 57.1	5 23.8	4 19.0	2 9.5	- -

4-2. スピーキング対策の指導をされている方は指導の際に何を重視されていますか？

		全 体	話 そ う と す る 意 欲	理 相 解 手 の 話 を 聞 き 取 り	表 現 力	発 音 の 正 確 さ	適 切 な 内 容 ・ 構 成	語 彙 力	適 切 な 文 法 ・ 語 法	学 習 回 数 ・ 頻 度
全 体		100 100.0	77 77.0	54 54.0	48 48.0	44 44.0	41 41.0	33 33.0	32 32.0	14 14.0
学 校 別	小学校教員（公立）	15 100.0	13 86.7	8 53.3	8 53.3	5 33.3	4 26.7	3 20.0	2 13.3	2 13.3
	中学校教員（公立）	5 100.0	5 100.0	3 60.0	5 100.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0
	高校教員（公立）	14 100.0	10 71.4	7 50.0	7 50.0	8 57.1	10 71.4	1 7.1	6 42.9	1 7.1
	高校教員（私立）	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	- -	1 50.0
	受験対策塾・予備校講師	43 100.0	30 69.8	23 53.5	19 44.2	19 44.2	17 39.5	18 41.9	17 39.5	8 18.6
	受験対策ではない塾の講師	21 100.0	17 81.0	11 52.4	7 33.3	9 42.9	6 28.6	8 38.1	5 23.8	1 4.8

5-1. ライティング対策として期待できる方法は次のうちどれですか？

		全 体	テ キ ス ト ・ 問 題 集	英 作 文 の 添 削 指 導	英 文 の 書 写	ト レ ー ニ ン グ A I に よ る	そ の 他
全 体		100 100.0	77 77.0	67 67.0	29 29.0	10 10.0	2 2.0
学 校 別	小学校教員（公立）	15 100.0	13 86.7	6 40.0	5 33.3	4 26.7	- -
	中学校教員（公立）	5 100.0	3 60.0	5 100.0	2 40.0	- -	- -
	高校教員（公立）	14 100.0	8 57.1	10 71.4	4 28.6	2 14.3	- -
	高校教員（私立）	2 100.0	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -
	受験対策塾・予備校講師	43 100.0	34 79.1	31 72.1	14 32.6	3 7.0	1 2.3
	受験対策ではない塾の講師	21 100.0	17 81.0	14 66.7	4 19.0	1 4.8	1 4.8

5-2. スピーキング対策として期待できる方法は次のうちどれですか？

		全 体	対 人 の 英 会 話	リス ニ ング	シ ャ ド ー イ ン グ	オン ライ ン 英 会 話	ト レ ー ニ ング A I による	そ の 他
全 体		100 100.0	73 73.0	69 69.0	43 43.0	19 19.0	11 11.0	1 1.0
学 校 別	小学校教員（公立）	15 100.0	11 73.3	12 80.0	5 33.3	2 13.3	3 20.0	- -
	中学校教員（公立）	5 100.0	5 100.0	3 60.0	3 60.0	1 20.0	- -	- -
	高校教員（公立）	14 100.0	9 64.3	5 35.7	6 42.9	3 21.4	3 21.4	- -
	高校教員（私立）	2 100.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	- -	- -
	受験対策塾・予備校講師	43 100.0	31 72.1	33 76.7	17 39.5	10 23.3	4 9.3	- -
	受験対策ではない塾の講師	21 100.0	15 71.4	15 71.4	10 47.6	2 9.5	1 4.8	1 4.8

6. 英語4技能対策の課題は何だと思えますか？

		全 体	教 員 の ス キ ル 不 足	コ ン テ ン ツ 不 足	適 切 な 教 材 ・ 学 習 時 間 が 少 な い	学 習 者 の 意 欲 が 低 い	教 員 の 人 員 不 足	そ の 他
全 体		100 100.0	74 74.0	49 49.0	37 37.0	36 36.0	30 30.0	1 1.0
学 校 別	小学校教員（公立）	15 100.0	12 80.0	7 46.7	7 46.7	9 60.0	4 26.7	1 6.7
	中学校教員（公立）	5 100.0	4 80.0	3 60.0	3 60.0	1 20.0	4 80.0	- -
	高校教員（公立）	14 100.0	8 57.1	7 50.0	4 28.6	5 35.7	5 35.7	- -
	高校教員（私立）	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -
	受験対策塾・予備校講師	43 100.0	32 74.4	25 58.1	15 34.9	13 30.2	7 16.3	- -
	受験対策ではない塾の講師	21 100.0	16 76.2	6 28.6	7 33.3	7 33.3	9 42.9	- -

9. 英語4技能対策について今ご自身で行っている教育を変える必要があると思いますか？

		全 体	1 ： 変 え る 必 要 が な い	2	3	4	5	6	7	8	9	1 0 ： 変 え る 必 要 が あ る
全 体		100 100.0	5 5.0	4 4.0	6 6.0	4 4.0	9 9.0	11 11.0	25 25.0	18 18.0	6 6.0	12 12.0
学 校 別	小学校教員（公立）	15 100.0	- -	- -	1 6.7	- -	2 13.3	2 13.3	4 26.7	2 13.3	1 6.7	3 20.0
	中学校教員（公立）	5 100.0	- -	- -	- -	1 20.0	- -	- -	- -	4 80.0	- -	- -
	高校教員（公立）	14 100.0	2 14.3	1 7.1	1 7.1	1 7.1	- -	2 14.3	4 28.6	- -	1 7.1	2 14.3
	高校教員（私立）	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -
	受験対策塾・予備校講師	43 100.0	2 4.7	2 4.7	1 2.3	- -	3 7.0	6 14.0	12 27.9	7 16.3	4 9.3	6 14.0
	受験対策ではない塾の講師	21 100.0	1 4.8	1 4.8	3 14.3	2 9.5	4 19.0	1 4.8	4 19.0	4 19.0	- -	1 4.8

10-1. 現在、AI（人工知能）をはじめとした最新技術の教育活用が注目されていますが、ご自身の授業においてAIは活用できそうですか？

		全 体	1 ： 活 用 で き な い	2	3	4	5	6	7	8	9	1 0 ： 活 用 で き そ う
全 体		100 100.0	14 14.0	5 5.0	9 9.0	8 8.0	10 10.0	15 15.0	17 17.0	14 14.0	1 1.0	7 7.0
学 校 別	小学校教員（公立）	15 100.0	- -	1 6.7	4 26.7	- -	1 6.7	- -	3 20.0	4 26.7	- -	2 13.3
	中学校教員（公立）	5 100.0	1 20.0	- -	2 40.0	- -	1 20.0	- -	- -	1 20.0	- -	- -
	高校教員（公立）	14 100.0	2 14.3	- -	- -	1 7.1	1 7.1	3 21.4	3 21.4	1 7.1	- -	3 21.4
	高校教員（私立）	2 100.0	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	受験対策塾・予備校講師	43 100.0	10 23.3	2 4.7	1 2.3	3 7.0	3 7.0	9 20.9	7 16.3	6 14.0	1 2.3	1 2.3
	受験対策ではない塾の講師	21 100.0	1 4.8	2 9.5	1 4.8	3 14.3	4 19.0	3 14.3	4 19.0	2 9.5	- -	1 4.8

6. 調査データ ～地域別クロス表～

1. あなたの学校、塾では英語4技能すべてに対応する講座・授業を実施していますか？

		全 体	既 に 実 施 し て い る	年 内 に 実 施 予 定	時 実 期 施 は 未 定 だ が	は 未 対 応 √ ハ 4 技 能 す べ て に	わ か ら な い
全 体		100 100.0	45 45.0	4 4.0	18 18.0	26 26.0	7 7.0
地 域 別	北海道	5 100.0	2 40.0	- -	- -	3 60.0	- -
	東北	5 100.0	3 60.0	- -	- -	2 40.0	- -
	関東	40 100.0	20 50.0	2 5.0	8 20.0	6 15.0	4 10.0
	中部	14 100.0	10 71.4	- -	- -	4 28.6	- -
	近畿	18 100.0	7 38.9	- -	5 27.8	5 27.8	1 5.6
	中国	7 100.0	2 28.6	2 28.6	2 28.6	- -	1 14.3
	四国	5 100.0	1 20.0	- -	1 20.0	3 60.0	- -
	九州・沖縄	6 100.0	- -	- -	2 33.3	3 50.0	1 16.7

2. 英語4技能教育として実施されている講座・授業の分野をお答えください。

		全 体	リ ー デ ィ ン グ	ラ イ テ ィ ン グ	リ ス ニ ン グ	語 彙 力 ^ 単 語 v	ス ピ ー キ ン グ	そ の 他
全 体		100 100.0	80 80.0	79 79.0	74 74.0	74 74.0	59 59.0	3 3.0
地 域 別	北海道	5 100.0	3 60.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	4 80.0	- -
	東北	5 100.0	5 100.0	4 80.0	5 100.0	2 40.0	3 60.0	- -
	関東	40 100.0	32 80.0	32 80.0	30 75.0	32 80.0	28 70.0	2 5.0
	中部	14 100.0	13 92.9	14 100.0	12 85.7	12 85.7	9 64.3	- -
	近畿	18 100.0	17 94.4	13 72.2	13 72.2	15 83.3	6 33.3	- -
	中国	7 100.0	4 57.1	7 100.0	4 57.1	6 85.7	4 57.1	- -
	四国	5 100.0	4 80.0	3 60.0	3 60.0	3 60.0	1 20.0	- -
	九州・沖縄	6 100.0	2 33.3	3 50.0	4 66.7	2 33.3	4 66.7	1 16.7

3. 英語4技能のうち、個人的にもっとも力を入れたい分野はどれですか？

		全 体	リ ー デ ィ ン グ	ラ イ テ ィ ン グ	リ ス ニ ン グ	ス ピ ー キ ン グ
全 体		100 100.0	26 26.0	18 18.0	24 24.0	32 32.0
地 域 別	北海道	5 100.0	2 40.0	- -	1 20.0	2 40.0
	東北	5 100.0	2 40.0	- -	3 60.0	- -
	関東	40 100.0	9 22.5	8 20.0	9 22.5	14 35.0
	中部	14 100.0	2 14.3	6 42.9	1 7.1	5 35.7
	近畿	18 100.0	7 38.9	2 11.1	4 22.2	5 27.8
	中国	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	3 42.9
	四国	5 100.0	2 40.0	- -	- -	3 60.0
	九州・沖縄	6 100.0	- -	1 16.7	5 83.3	- -

4-1. ライティング対策の指導をされている方は指導の際に何を重視されていますか？

		全 体	適 切 な 文 法 ・ 構 文	適 切 な 内 容 ・ 構 成	語 彙 力	自 ら の 意 見 を 表 現 で き て い る か	時 間 内 に 書 き 終 え ら れ る か	学 習 回 数 ・ 頻 度	そ の 他
全 体		100 100.0	76 76.0	69 69.0	59 59.0	40 40.0	20 20.0	13 13.0	1 1.0
地 域 別	北海道	5 100.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	- -	- -
	東北	5 100.0	3 60.0	4 80.0	4 80.0	2 40.0	- -	2 40.0	- -
	関東	40 100.0	33 82.5	26 65.0	25 62.5	13 32.5	7 17.5	6 15.0	- -
	中部	14 100.0	10 71.4	10 71.4	9 64.3	6 42.9	3 21.4	2 14.3	- -
	近畿	18 100.0	15 83.3	15 83.3	10 55.6	8 44.4	5 27.8	1 5.6	- -
	中国	7 100.0	6 85.7	6 85.7	2 28.6	5 71.4	- -	1 14.3	1 14.3
	四国	5 100.0	3 60.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	- -	1 20.0	- -
	九州・沖縄	6 100.0	4 66.7	3 50.0	3 50.0	2 33.3	3 50.0	- -	- -

4-2. スピーキング対策の指導をされている方は指導の際に何を重視されていますか？

		全 体	話 そ う と す る 意 欲	理 相 解 手 の 話 を 聞 き 取 り	表 現 力	発 音 の 正 確 さ	適 切 な 内 容 ・ 構 成	語 彙 力	適 切 な 文 法 ・ 語 法	学 習 回 数 ・ 頻 度
全 体		100 100.0	77 77.0	54 54.0	48 48.0	44 44.0	41 41.0	33 33.0	32 32.0	14 14.0
地 域 別	北海道	5 100.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0
	東北	5 100.0	5 100.0	4 80.0	3 60.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	- -	1 20.0
	関東	40 100.0	30 75.0	24 60.0	18 45.0	17 42.5	11 27.5	16 40.0	9 22.5	6 15.0
	中部	14 100.0	12 85.7	8 57.1	8 57.1	8 57.1	7 50.0	4 28.6	5 35.7	2 14.3
	近畿	18 100.0	15 83.3	11 61.1	8 44.4	8 44.4	9 50.0	5 27.8	6 33.3	2 11.1
	中国	7 100.0	6 85.7	3 42.9	5 71.4	3 42.9	2 28.6	3 42.9	3 42.9	1 14.3
	四国	5 100.0	3 60.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	4 80.0	- -
	九州・沖縄	6 100.0	3 50.0	- -	1 16.7	2 33.3	3 50.0	- -	4 66.7	1 16.7

5-1. ライティング対策として期待できる方法は次のうちどれですか？

		全 体	テ キ ス ト ・ 問 題 集	英 作 文 の 添 削 指 導	英 文 の 書 写	二 A ン グ に よ る ト レ ー ン グ	そ の 他
全 体		100 100.0	77 77.0	67 67.0	29 29.0	10 10.0	2 2.0
地 域 別	北海道	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	- -	- -
	東北	5 100.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	- -	1 20.0
	関東	40 100.0	33 82.5	28 70.0	11 27.5	4 10.0	1 2.5
	中部	14 100.0	11 78.6	10 71.4	6 42.9	2 14.3	- -
	近畿	18 100.0	14 77.8	14 77.8	5 27.8	2 11.1	- -
	中国	7 100.0	7 100.0	3 42.9	2 28.6	1 14.3	- -
	四国	5 100.0	3 60.0	4 80.0	3 60.0	- -	- -
	九州・沖縄	6 100.0	4 66.7	4 66.7	- -	1 16.7	- -

5-2. スピーキング対策として期待できる方法は次のうちどれですか？

		全 体	対 人 の 英 会 話	リ ス ニ ン グ	シ ャ ド ー イ ン グ	オ ン ラ イ ン 英 会 話	オ ン ラ イ ン による ト レ ー ニ ン グ	そ の 他
全 体		100 100.0	73 73.0	69 69.0	43 43.0	19 19.0	11 11.0	1 1.0
地 域 別	北海道	5 100.0	2 40.0	4 80.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	- -
	東北	5 100.0	4 80.0	5 100.0	3 60.0	- -	- -	- -
	関東	40 100.0	33 82.5	27 67.5	16 40.0	10 25.0	4 10.0	1 2.5
	中部	14 100.0	9 64.3	8 57.1	8 57.1	3 21.4	3 21.4	- -
	近畿	18 100.0	16 88.9	13 72.2	8 44.4	4 22.2	1 5.6	- -
	中国	7 100.0	5 71.4	5 71.4	3 42.9	1 14.3	2 28.6	- -
	四国	5 100.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	- -	- -	- -
	九州・沖縄	6 100.0	2 33.3	4 66.7	2 33.3	- -	- -	- -

6. 英語4技能対策の課題は何だと思えますか？

		全 体	教 員 の ス キ ル 不 足	コ 適 ン 切 テ ン ツ 不 足	学 習 時 間 が 少 な い	教 員 の 人 員 不 足	が 学 習 者 の 意 欲 低 い	そ の 他
全 体		100 100.0	74 74.0	49 49.0	37 37.0	36 36.0	30 30.0	1 1.0
地 域 別	北海道	5 100.0	4 80.0	3 60.0	- -	3 60.0	1 20.0	- -
	東北	5 100.0	4 80.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0	- -
	関東	40 100.0	30 75.0	18 45.0	15 37.5	13 32.5	10 25.0	1 2.5
	中部	14 100.0	11 78.6	7 50.0	6 42.9	6 42.9	6 42.9	- -
	近畿	18 100.0	14 77.8	7 38.9	9 50.0	6 33.3	4 22.2	- -
	中国	7 100.0	4 57.1	5 71.4	2 28.6	2 28.6	1 14.3	- -
	四国	5 100.0	3 60.0	4 80.0	2 40.0	1 20.0	4 80.0	- -
	九州・沖縄	6 100.0	4 66.7	3 50.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	- -

9. 英語4技能対策について今ご自身で行っている教育を変える必要があると思いますか？

		1 : 変える 必要が ない	2	3	4	5	6	7	8	9	10 : 変える 必要が ある	
全体	100 100.0	5 5.0	4 4.0	6 6.0	4 4.0	9 9.0	11 11.0	25 25.0	18 18.0	6 6.0	12 12.0	
地域別	北海道	5 100.0	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	-	-	1 20.0	1 20.0	-	-
	東北	5 100.0	-	-	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	2 40.0	-	-	-
	関東	40 100.0	3 7.5	2 5.0	4 10.0	-	4 10.0	3 7.5	6 15.0	10 25.0	4 10.0	4 10.0
	中部	14 100.0	-	-	-	2 14.3	2 14.3	2 14.3	4 28.6	2 14.3	-	2 14.3
	近畿	18 100.0	-	2 11.1	-	-	1 5.6	4 22.2	5 27.8	3 16.7	-	3 16.7
	中国	7 100.0	-	-	-	-	1 14.3	-	3 42.9	-	1 14.3	2 28.6
	四国	5 100.0	1 20.0	-	-	1 20.0	-	-	1 20.0	2 40.0	-	-
	九州・沖縄	6 100.0	-	-	-	-	-	1 16.7	3 50.0	-	1 16.7	1 16.7

10-1. 現在、AI（人工知能）をはじめとした最新技術の教育活用が注目されていますが、ご自身の授業においてAIは活用できそうですか？

		全 体	1 ： 活 用 で き な い	2	3	4	5	6	7	8	9	1 0 ： 活 用 で き そ う
全 体		100 100.0	14 14.0	5 5.0	9 9.0	8 8.0	10 10.0	15 15.0	17 17.0	14 14.0	1 1.0	7 7.0
地 域 別	北海道	5 100.0	- -	- -	1 20.0	- -	1 20.0	1 20.0	- -	1 20.0	- -	1 20.0
	東北	5 100.0	- -	- -	- -	1 20.0	2 40.0	2 40.0	- -	- -	- -	- -
	関東	40 100.0	5 12.5	2 5.0	4 10.0	5 12.5	3 7.5	6 15.0	6 15.0	5 12.5	1 2.5	3 7.5
	中部	14 100.0	5 35.7	- -	3 21.4	- -	1 7.1	1 7.1	2 14.3	1 7.1	- -	1 7.1
	近畿	18 100.0	3 16.7	2 11.1	- -	2 11.1	1 5.6	4 22.2	3 16.7	2 11.1	- -	1 5.6
	中国	7 100.0	- -	1 14.3	- -	- -	2 28.6	- -	3 42.9	1 14.3	- -	- -
	四国	5 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 20.0	2 40.0	1 20.0	- -	1 20.0
	九州・沖縄	6 100.0	1 16.7	- -	1 16.7	- -	- -	- -	- -	1 16.7	3 50.0	- -

英語4技能教育とAI活用に関する調査報告書

デジタル・ナレッジ 調査

検索

2018年1月発行

発行：株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute
株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>